

## 隣保館等の概要と地区の状況について

(芦浦地区)

## I 隣保館等の概要について

## 1 活動の特徴

児童・生徒の生活、学力の向上と進路保障を最重要課題と位置付け、地域と保護者ならびに関係機関との連携を図るとともに、「1人の100歩より100人の1歩」をスローガンとして、社会連帯の意識を身につけた人間形成と、あらゆる差別を許さない社会の実現、差別に負けない子どもの育成に力を注いでいます。また、地域福祉事業の推進にあたっては、平成18年度より地元のNPO法人に業務委託をし、行政と一体となって事業を展開しているところです。

地元NPOへの委託事業は、隣保館デイサービス事業（H18年度より）、子育て支援事業（H19年度より）、ふるさと再生・再発見事業（H21からH23年度まで）です。

## 2 施設の概要

名 称	常盤東総合センター
所 在 地	草津市芦浦町319-1
開 館 時 間	8:45～17:30
規 模 ・ 構 造	増築分（本館）（平成21年3月増改築） 建物面積 766.80 m <sup>2</sup> 構 造 鉄骨造平屋建て 改修分（別館） 建物面積 222.74 m <sup>2</sup> 構 造 鉄骨造2階建て 合 計 1,029.83 m <sup>2</sup> （附帯部分含む）
事業開始年月日	昭和56年4月1日

名 称	芦浦教育集会所
所 在 地	草津市芦浦町319-2
開 館 時 間	8:45～17:30
規 模 ・ 構 造	建物面積 198.99 m <sup>2</sup> 構 造 軽量鉄骨造平屋建
事業開始年月日	昭和47年4月1日

## 3 職員の配置状況

職 名	人員	勤 務 形 態						備 考
		正 規	再 任 用	嘱 託	臨 時	常 勤	非 常 勤	
館 長	1		○				○	
事 務 職 員	1	○				○		
教 育 職 員	2	○				○		
用 務 員	1		○				○	
社会教育指導員	1			○			○	
職業安定協力員	1			○			○	
計	7	3	2	2		3	4	

NPO職員	人員
子育て支援員	1
健康福祉推進員	1
ふるさと再生・再発見事業調査員	1
計	3

#### 4 事業内容

事業区分	事業名称	事業内容	対象者	
			地区内のみ	近隣を含む
連絡調整に関する こと	常盤東総合センター運営委員会	同和地区内における同和行政の総合的かつ計画的な推進をはかるための隣保館等の運営に関する協議		○
	保・幼・小・中・館同和教育担当者連絡協議会	芦浦町の子どもたち等に対する教育推進をはかるための連絡調整		
	湖南ブロック地域総合センター連絡協議会	湖南4市の地域総合センターの業務全般にかかる協議連絡、研修		
	湖南地区職業対策担当者連絡協議会	湖南地区内の職業対策担当者（職安、県南部環境・総合事務所、年金事務所等）が相互に連絡・協力し、情報収集や研修		
	草津市・学区同和教育推進協議会	同和教育の推進徹底を期するために必要な事項を協議し、研修会等具体的な活動を行う。		
相談事業に関する こと	健康・介護相談	健康増進課の保健師による相談 毎月第2水曜日（午前中） NPO健康福祉推進員による相談（随時）		○
	職業相談	職業安定協力員による職業、就労等に関する相談（随時）		○
	教育相談	教育担当職員による教育や進路等に関する相談及びNPO子育て支援員による子育て相談（随時）	○	
	その他の相談	随時、納税・年金・福祉・人権・生活相談など、 生活相談については、社会教育指導員が主に対応		○
調査及び研究に関する こと	調査及び研究事業	館事業を通じて地域住民のニーズや動向の把握に努める。	○	
	新堂学区子ども輝き人権教育推進会議	新堂中学校区の保、幼、小、中、高、会館教職員が、重い課題をもった児童生徒の生活と学力を高め、進路指導の充実を図るための調査、研究、研修		○
自主的活動の育成に関する こと	各種団体育成指導	地域の各種団体の自主性を尊重しながら地域課題を自ら解決していくよう、各団体の日常活動行事に必要なに応じて協力指導し、団体育成に努めることにより、地域全体の教育力の向上を目指す。 芦浦町東町内会 芦浦町同和事業促進協議会 部落解放同盟芦浦支部 子ども会 小・中学校PTA 生活安定資金利用者組合	○	

		青年会 老人クラブ 生産組合他		
教育、文化の向上 及び地域交流に関 すること	定期講座	生花、編物、習字、珠算、英会話 (小・幼)、漢字は近隣町含む 和太鼓のみ地区限定		○
	その他の講座	人権、パソコン、気功・太極拳、 趣味講座など		○
	自主活動学級 集中学習	小学生 毎週火曜日 中学生 毎週金曜日 中学生 試験前1週間	○	
	進学教室	中学3年生(希望者含む) 毎週火曜日	○	
	ステップ教室	NPOの子育て支援員による 4・5歳児活動 毎月2回 就学前の幼児対象	○	
啓発及び広報活動 に関すること	センターニュース	毎月1日発行 町内全戸、学区町内会等に配布		○
	動く隣保館事業	常盤学区同和教育推進モデル町		○
	人権学習会	各種文化交流教室の受講生およ び保護者		○
社会福祉の増進等 に関すること	健康相談(再掲)	健康増進課の保健師による相談 毎月第2水曜日(午前中)		○
	ふらっとサロンの 活用	NPOによる健康福祉推進員の配置 健康機器の設置 ヘルストロン、マッサージ機		○
	福祉講座	介護予防教室、健康体操、カラオ ケ教室など(NPOに委託)		○
就労の安定に関す ること	職業相談(再掲)	随時、職業安定協力員による職 業、就労等に関する相談		○
	職業指導	就職希望者、失業者や不安定就労 者に対する求人情報の提供と指 導		○
その他	各種団体	社会教育指導員を中心に支援 印岐志呂太鼓、神社例大祭、交流 夏祭り、老人を敬う会、左義長他		○

## 5 隣保館等の利用状況

H20年度

教室・講座実施回数	277回	教室・講座参加者累計	1,537人	うち町外 537人
自主活動学級等実 施回数	136回	自主活動学級等参加 者累計	1,598人	
地区団体利用回数	153回	地区団体利用者累計	2,471人	
貸館利用回数(地区 外団体等)	287回	貸館利用者累計	1,657人	
		相談累計件数	907件	
		交流サロン等利用者 累計	988人	

## H21年度

教室・講座実施回数	261回	教室・講座参加者累計	1,599人	うち町外 743人
自主活動学級等実施回数	145回	自主活動学級等参加者累計	1,579人	
地区団体利用回数	144回	地区団体利用者累計	2,531人	
貸館利用回数(地区外団体等)	267回	貸館利用者累計	3,910人	
		相談累計件数	801件	
		交流サロン等利用者累計	655人	

## H22年度

教室・講座実施回数	278回	教室・講座参加者累計	1,612人	うち町外 809人
自主活動学級等実施回数	149回	自主活動学級等参加者累計	1,585人	
地区団体利用回数	154回	地区団体利用者累計	3,025人	
貸館利用回数(地区外団体等)	219回	貸館利用者累計	3,634人	
		相談累計件数	688件	
		交流サロン等利用者累計	785人	

## 6 館の課題

文化教室においては、地区住民の受講申込みが少ない状況にあります。センターのリニューアルに伴い、範囲を広げて募集をしていきたいと考えていますが、一部の教室を除いて、交流が広がらないのが現状です。地区住民のニーズをとらえ、魅力ある講座づくりをしていくとともに、更に交流を広げ、深めていく必要があります。

## II 地区の状況について

### 1 地区の概要

芦浦地区は、草津市の北東部に位置し、守山市欲賀町と隣接している農村地域ですが、農業に従事する住民は11世帯と年々減少しており、ほとんどが第二種兼業農家です。町の総世帯数は61戸、人口241人の比較的小さな集落です。

1973年11月に結成された部落解放同盟芦浦支部を中心として、同和問題の早期解決に向けて教育や生活の向上、環境整備、啓発活動等に積極的に取り組んでおります。

当地区においては、環境改善事業の進捗率は、ほぼ100%に達しており、現在は近隣町を含めた同和問題に対する認識と理解を深めるための活動を積極的に展開しています。

特に誇れるものとしては、高齢者の生きがい対策の一つであり、今も活発に活動を続けられているものとして野菜グループがあります。もう一つは、印岐志呂神社に神霊が鎮座されて1300年を迎えた時、印岐志呂太鼓が創作太鼓として誕生しました。数々のイベント時に出演し、今でも、毎年開催される印岐志呂神社の例祭には、迎え太鼓により御輿を迎え、参詣者に印岐志呂太鼓を（奉納）披露しています。

### 2 世帯数・人口の推移

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
世帯数	60世帯 (60世帯)	59世帯 (59世帯)	56世帯 (56世帯)	57世帯 (57世帯)	60世帯 (60世帯)	61世帯 (61世帯)
人口	236人 (236人)	236人 (236人)	232人 (232人)	236人 (236人)	237人 (237人)	241人 (241人)

※上段同和関係者の世帯数・人口 ( )内町内域全体の世帯数・人口

### 3 地区内団体の活動状況

団体名	活動内容
芦浦町東町内会	地域住民にとって住みよい町となるために、関係行政機関と連携を図りながら、住民自治の推進に努力しています。 (総会、役員会、祭礼、農業行事、体育振興、自衛消防、自治活動)
芦浦町同和事業促進協議会	地域の同和事業を促進していく上の推進機関として、地元との協議・調整、関係機関との連絡調整を図りながら、生活環境の改善や学力向上事業、近隣町交流事業等を実施しています。
部落解放同盟芦浦支部	部落の完全解放を目的に、市内の3支部で組織した市協議会の活動とともに、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消に向けて、部落解放運動を展開しています。(総会、役員会、学習会)
生活安定資金利用者組合	資金の運用を通じて、同和对策事業に対する理解と認識を深め、学習会により連帯感の向上や生活の安定を図り、組合員の自主自立に努めています。
NPO法人「ハート&ライト」	市から委託を受けた3事業(隣保館デイサービス、子育て支援、ふるさと再生)に加え、同和問題をはじめあらゆる差別の解消に向け、積極的に啓発活動にも取り組んでいます。啓発団体として①「たんぼぼ」による朗読劇、②男性5人組の音楽バンド「歩〇歩〇」による人権コンサート、③小学生から大人までの「印岐志呂太鼓」等です。市内はもとより県内外からの依頼に基づき、公演活動を展開しています。
子ども会	5歳児・小・中学校の児童生徒をもって組織し、館職員、社会教育指導員と小・中学校同和教育担当の指導のもとに、仲間づくりを中心に自主性を養っています。(総会、祭礼、教育キャンプ、老人を敬う会、クリスマス会、卒園児・卒業生を送る会、研修会)

小・中学校PTA	子どもたちの社会的な立場を認識するとともに、保・幼・小・中の各校と連携を図り、子どもたちの健全育成のための各種行事に対する援助や懇談会、保護者懇談会を実施しています。
青年会	15歳から25歳までを会員としています。「交流夏祭り大会」や「左義長」を町と共催しながら活動しています。
老人クラブ	「寿会」と称し、芦浦町と共に、60歳以上を会員として組織しています。総会、定例会、学習会等への参加、近隣町や学区との懇談会やグラウンドゴルフ、レクリエーションを実施し、親睦と交流を深めています。
生産組合	地域の農業振興を図るため、共同育苗センターや野菜グループに対する支援を効率的に行なうための共同作業の実施を図っています。

#### 4 教育の状況

##### (1) 中学生の進路状況

	平成19年3月卒	平成20年3月卒	平成21年3月卒	平成22年3月卒	平成23年3月卒
卒業生数	1 (1) 人	1 (1) 人	2 (2) 人	3 (3) 人	3 (3) 人
高校進学者	1 (1)	1 (1)	2 (2)	3 (3)	3 (3)
就職者	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

就職者には、高技専も含む

※ ( ) 内調内域全体の人数

##### (2) 高校生の進路状況

	平成19年3月卒	平成20年3月卒	平成21年3月卒	平成22年3月卒	平成23年3月卒
卒業生数	4 (4) 人	2 (2) 人	3 (3) 人	1 (1) 人	1 (1) 人
大学・短大進学者	3 (3)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	1 (1)
専修・各種学校進学者	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
就職者	1 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)
その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※ ( ) 内調内域全体の人数

##### (3) 高校中退者

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
中退者数	0 (0) 人				

※ ( ) 内調内域全体の人数

(4) 自主活動学級の状況

	小学生		中学生
	低学年	高学年	
学 力 向 上	基礎学力の向上、学習習慣の定着・自主的主体的な学習態度の育成。個に応じて学級担任が問題を作り、課題の解決を図る（国、算中心）		家庭での学習習慣の定着を目指し、学習の方法を中心に取り組みを進める。テスト前は、一週間の集中学習会を実施
仲 間 づ くり	スポーツ、図工(個人クラスと、共同制作)、音楽、お楽しみ集会、料理など全員で活動する。小中間の仲間づくりとして学期に1～2回スポーツや制作活動で交流する。		スポーツ、映画、社会見学工芸、料理等全員で活動
そ の 他	人権学習を学期に1回（2コマずつ）を学年の発達段階に応じて実施。また地域学習を年間2期に分けて実施		部落問題学習(学校の人権学習、および自主活の人権学習と連携しながら)
指 導 者	児童の通う小学校教職員 センター職員（教育担当）		生徒の通う中学校教職員 センター職員（教育担当）

5 地域福祉・保健衛生の状況

区 分	地 区 内		市 全 体
	平成10年	平成22年	平成 22 年
生活保護世帯数(生活保護率)	0 (0) 世帯 (%)	2 (2) 世帯 3.3%(3.3%)	5 3 2 世帯 0.6%
母子・父子世帯数	2 (2) 世帯	3 (3) 世帯	8 8 5 世帯
身体障害者(児)数	一 人	1 2 (1 2) 人	3, 3 7 5 人
6 5 歳以上老人数	3 6 (3 6) 人	3 9 (3 9) 人	2 1, 3 9 9 人
独居老人数	3 (3) 人	5 (5) 人	4, 0 3 1 人
独居老人率	8.3% (8.3%)	12.8% (12.8%)	1 8. 8%

※( )内調内域全体の人数

6 就労の状況

(1) 若年層の状況

特に、新卒卒者に不安定就労者が多い状況です。地元や近隣周辺の自営業者の所で働いたり、コンビニでのアルバイトが目立っています。

(2) 中高年層の状況

概ね安定しています。しかしながら不安定就労者もおられ、経済状況の悪化の影響を受けて、企業の倒産やリストラで職を失った方もおられる。再就職は特に厳しいものがあるため、失業者に対する相談や求人情報の提供等の支援をしています。

## 7 地区の課題

### 【生活・福祉】

地区の高齢化は顕著ではありませんが、将来に向けて高齢者対策への要望が強い。中高齢者を中心に障害者の割合が高く、きめ細かい福祉サービスが望まれます。

### 【教育】

言葉を聞いて理解する力や数の概念が弱く、学習のスタートからしんどい思いをしている子どもがいます。やり方を習ったその時はできても、翌日とか少し時間が経つとできず。これは、習うときの本人の意欲の弱さ（やらされるからやっている、機械的にやっている、覚えようと思わない、やりながら考えていない）にも原因があると考えられます。

### 【就労】

数人の求職者（中・高齢者）がいますが、短期的なアルバイトを別にして、なかなか就職に結びつきません。若年層のパート・臨時職が多く、正規雇用を望んでいますが、経済の低迷や不況のあおりを受けて、難しい状況にあります。

### 【その他】

地元 NPO 法人「ハート&ライト」は、現在「ふるさと再生・再発見事業」を受託し、地域野菜を生かした加工品としてのキムチ作りやサイボシ（馬肉等の燻製）等を試作し、商品化に向けて調査研究を進めている段階です。この事業が、将来、地域のまちおこしにつながる一つの課題です。

一方、人権啓発面では、NPO 法人においても積極的に活動を展開していますが、賛同する会員の輪を広げることや次代の後継者育成に苦慮している状況です。